

2015年4月9日

ウェザーニュース、花粉の中間まとめと今後の飛散傾向を発表
今年の花粉はスピード飛散！全国的に昨シーズンより1週間早く終わる予想
～関東は花粉シーズンが昨年より1ヶ月弱も短い短期集中型の見込み～

株式会社ウェザーニュース（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁）は、今後も飛散が見込まれる花粉に対して十分な対策を取っていただくため、2015年2～3月における花粉飛散状況及び、今後の花粉飛散傾向を発表しました。今年の花粉は、全国的に昨シーズンより約1週間も早く飛散が終わるスピード飛散となりそうです。関東は、飛散開始が昨シーズンより約2週間以上遅かったにも関わらず、飛散終了は約1週間早くなる予想で、花粉が飛んでいる時期が昨シーズンより約25日も短い短期集中型となる見込みです。本発表は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やスマホ向けwebサイト、携帯サイトから確認できます。

花粉の中間まとめ・今後の飛散予想はこちらから

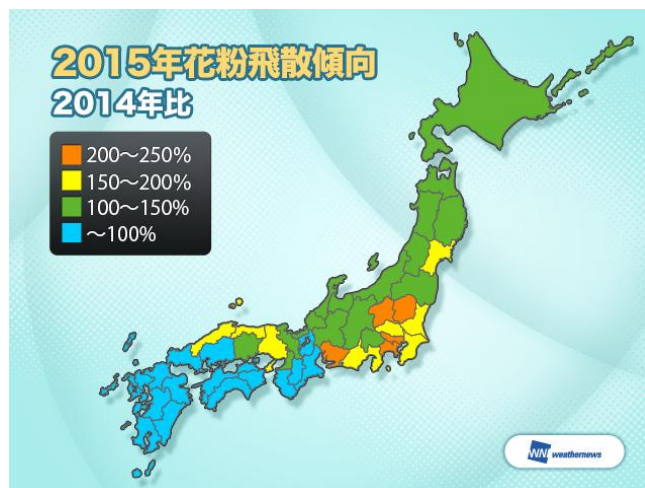
スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」
をダウンロード後、「花粉 Ch.」にアクセス

スマホ向けwebサイト「ウェザーニュース」
<http://weathernews.jp/ip/info/pollen/2015/trend3/>

◆ 今後の花粉飛散予想（4～5月）

～花粉シーズン終了は4月末、全国的に昨シーズンより1週間早く終わる予想～

今後、一時的な寒さはあるものの、4月後半は平年より暖かい日が多くなる予想です。また、これまでの暖かさが影響し、平年（2008年～2014年の平均）よりやや早くスギ・ヒノキ花粉のシーズンは終わる見込みです。現在、スギ花粉の飛散は次第に減少しており、ヒノキ花粉も4月末～5月はじめを目処に終了する見通しです。これまでの飛散量を考慮して算出した最新のシーズン全体の花粉飛散量は、関東～東海を中心に昨シーズンの1.5～2.5倍と多く、西日本を中心に昨シーズンより少ない予想です。四国や九州の飛散量は当初の予想よりさらに少なく、昨シーズンの4割の飛散量となる予想です。



北海道のシラカバ花粉は、寒さが緩む4月下旬から飛散が開始する予想です。飛散ピークは5月中旬と平年並となる予想ですが、4月下旬～5月上旬の暖かさ次第では、ピークが早まる可能性もありますので、そろそろ対策を始めると安心です。北海道の花粉飛散量は、当初の予想と変化なく昨シーズンと同程度になる予想です。

◆ 前半の花粉まとめ（2～3月）

～花粉の飛散開始時期、関東は昨シーズンより2週間以上も遅いスタートに～

この冬は12月から1月上旬まで強い寒気が度々流れ込み、1月中旬以降は寒さが緩む日が出てきたものの、1月末から再び寒い日が続きました。その後、暖かい日が増えた2月中旬に、西～東日本の広い範囲（関東、東海、近畿、中国、四国、九州）でスギ花粉の飛散シーズンに入りました。毎年、全国の中でも飛散開始が早い関東では、特に2月上旬の寒さの影響で、スギ花粉のシーズン開始が昨シーズンより2週間以上遅くなりました。

2月下旬には南から暖かい空気が流れ込み、21日は九州北部、22日は中四国や北陸で「春一番」が吹くなど、西日本や北陸を中心に花粉が飛散しやすい条件が揃いました。また、23日は、関東南部や東海で20℃以上、東北南部でも15℃を超える場所も出るなど季節外れの暖かさとなりました。このため、2月下旬に西～東日本の広範囲で花粉シーズンが本格化し、東北南部でも花粉シーズンに突入しました。この暖かさの影響で、東北南部・北陸の飛散シーズンインは、昨シーズンより数日～2週間程度早まり、山形県では3週間弱早まりました。

3月は寒の戻りで寒くなる日もありましたが、一度暖かくなって雄花が開いた後は風に乗って各地に花粉が飛散するため、風が強まることによって西～東日本の各地で花粉が多く飛散しました。3月中旬からは、東北でも暖かい日が続いたことで花粉の飛散量が多くなり、昨年よりも10日前後早くスギ花粉の飛散ピークを迎えました。現在は、西～東日本はスギ花粉のピークを過ぎ、ヒノキ花粉のピークとなっています。また、北日本ではスギ花粉のピークを迎えています。

～2～3月の花粉飛散量、東北から中部は昨シーズンの1.7倍と多い結果に～

3月23日までの飛散量を集計したところ、東北～中部では昨シーズンよりも飛散量が多い（昨シーズンの1.7倍）結果になりました。これは、特に3月は晴れて気温が高くなる日が多く、スギ花粉の飛散ピークのタイミングが、昨年と比べると早かったためであると考えられます。一方、四国や九州では元々飛散量が昨年より少ない予想であり、平均で昨シーズンの4割となっています。

～花粉症の症状報告、東北では昨シーズンより重く、四国や九州では軽い方が多い～

2月1日～3月23日、花粉症の方を対象に、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」から送っていただいた症状報告（非常にツライ、ツライ、ややツライ、大丈夫の4つから選択して毎日報告）を分析したところ、東北では昨シーズンより症状が重く、四国や九州では昨シーズンより症状が軽い傾向がみられました。東北では昨シーズンより飛散開始が早い県が多いことに加え、暖かさの影響でピークも早まっていることから、シーズン前半に重い症状が出ている方が多いようです。一方、四国や九州では、昨シーズンよりも飛散量が少ないことが、症状の軽減につながっていると考えられます。関東・中部・近畿では、飛散量が昨年よりも増えているにも関わらず、症状報告は昨年と同じかややツライ方が多くなりました。非常にツライと感じている方がそれほど多くない理由として、花粉が飛び始める2月前半までにバッチリ対策された方の割合が多かったことが挙げられます（※）。

※第一回花粉症調査：<http://weathernews.com/ja/nc/press/2015/150313.html>

◆ 今シーズンの都道府県別の花粉飛散傾向

都道府県	花粉飛散量						
	花粉シーズン開始日から 3月23日までの総飛散数			花粉シーズン開始日から終了日までの総飛散数			
	今シーズン (個)	昨シーズン (個)	昨シーズン 比 (%)	今シーズン 予想 (個)	昨シーズン (個)	昨シーズン 比予想 (%)	平年比 予想 (%)
北海道	シーズン前	シーズン前		4780	4773	100	144
青森県	915	420	218	8200	5858	140	176
岩手県	1547	559	277	6850	4910	140	126
秋田県	412	403	102	3950	3287	120	110
宮城県	1208	696	174	5350	3432	156	91
山形県	1125	635	177	6130	4720	130	155
福島県	1423	1385	103	7200	6124	118	92
茨城県	2103	2095	100	8600	4861	177	90
栃木県	3841	1646	233	9200	3683	250	112
群馬県	5453	2340	233	12250	5776	212	127
埼玉県	2240	2099	107	8500	5461	156	92
千葉県	1603	1368	117	5500	3071	179	90
東京都	1918	1080	178	6700	2888	232	90
神奈川県	1611	1142	141	6700	3349	200	96
山梨県	2038	1419	144	8000	6925	116	95
長野県	1321	1062	124	8000	6716	119	111
新潟県	1398	559	250	4500	3906	115	102
富山県	1409	948	149	5000	4443	113	101
石川県	1709	698	245	4000	2676	149	84
福井県	1099	1033	106	4000	3405	117	77
静岡県	2025	871	232	6200	3334	186	90
愛知県	2446	886	276	7000	3116	225	117
岐阜県	1109	988	112	6200	5080	122	91
三重県	1026	1470	70	5300	6310	84	86
滋賀県	681	1045	65	4800	5956	81	98
京都府	508	675	75	4000	3370	119	82
大阪府	1504	893	168	5000	3544	141	108
兵庫県	1389	585	238	4500	2400	187	101
奈良県	589	1417	42	4500	5634	80	66
和歌山県	595	679	88	2000	2457	81	49
岡山県	1335	742	180	3500	3334	105	84
広島県	1324	1299	102	3800	4728	80	91
鳥取県	866	475	182	2800	1694	165	76
島根県	748	565	132	2700	1672	162	70
山口県	1675	1763	95	3550	4886	73	87
徳島県	1118	3160	35	3650	7549	48	87
香川県	792	847	94	2900	3107	93	71
愛媛県	465	1156	40	1600	4484	36	41
高知県	921	2748	34	2000	7259	28	50
福岡県	748	1815	41	1600	5085	31	40
佐賀県	249	2016	12	1000	5023	20	32
長崎県	555	2501	22	1500	5586	27	39
大分県	937	3466	27	2300	8378	27	45
熊本県	932	1498	62	2300	4233	54	62
宮崎県	1818	3571	51	3650	6590	55	83
鹿児島県	764	1913	40	1500	3278	46	37

※飛散数：花粉観測機「ポールンロボ」が観測する花粉数で、都道府県内の平均を示す。北海道はシラカバ花粉の花粉数

※沖縄県は目立った花粉がないため除外

※平年は2008～2014年の平均

都道府県	花粉シーズン 開始日		本格花粉シーズン 開始日		本格花粉シーズン 終了日		花粉シーズン 終了日	
	今シーズン	昨シーズン	今シーズン	昨シーズン	今シーズン (予想)	昨シーズン	今シーズン (予想)	昨シーズン
北海道 (シラカバ)	4月中旬 (予想)	4月27日	4月下旬 (予想)	4月30日	6月上旬	6月1日	6月中旬	6月21日
青森県	3月15日	3月18日	3月18日	3月24日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月9日
岩手県	3月5日	3月17日	3月13日	3月24日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月10日
秋田県	3月8日	3月17日	3月17日	3月25日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月7日
宮城県	2月24日	3月4日	3月5日	3月19日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月11日
山形県	2月24日	3月15日	3月9日	3月18日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月7日
福島県	2月24日	3月4日	3月5日	3月14日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月7日
茨城県	2月13日	1月26日	2月25日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
栃木県	2月13日	1月26日	2月21日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
群馬県	2月13日	1月26日	2月19日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
埼玉県	2月13日	1月26日	2月19日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
千葉県	2月13日	1月26日	2月23日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
東京都	2月13日	1月26日	2月24日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
神奈川県	2月13日	1月26日	2月23日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
山梨県	2月13日	1月31日	2月23日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
長野県	2月23日	2月28日	3月5日	3月6日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月7日
新潟県	2月24日	3月12日	3月8日	3月18日	4月下旬	4月25日	5月初め	5月7日
富山県	2月23日	2月28日	3月8日	3月12日	4月下旬	4月25日	5月初め	5月7日
石川県	2月23日	2月28日	3月8日	3月12日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月7日
福井県	2月24日	2月28日	3月8日	3月12日	4月下旬	5月2日	5月初め	5月7日
静岡県	2月12日	2月16日	2月20日	2月28日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
愛知県	2月14日	2月20日	2月19日	2月28日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
岐阜県	2月21日	2月24日	2月28日	3月2日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
三重県	2月15日	2月20日	2月23日	2月28日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
滋賀県	2月23日	2月26日	3月4日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
京都府	2月23日	2月26日	3月4日	3月12日	4月下旬	4月25日	4月末	5月7日
大阪府	2月19日	2月24日	2月23日	3月4日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
兵庫県	2月19日	2月26日	2月24日	3月12日	4月下旬	4月25日	4月末	5月7日
奈良県	2月23日	2月20日	2月28日	3月3日	4月下旬	5月2日	4月末	5月7日
和歌山県	2月13日	2月20日	2月23日	3月3日	4月下旬	4月25日	4月末	5月7日
岡山県	2月17日	2月24日	2月24日	3月8日	4月下旬	5月1日	4月末	5月7日
広島県	2月19日	2月23日	2月23日	2月25日	4月下旬	5月1日	4月末	5月7日
鳥取県	2月22日	2月28日	2月24日	3月12日	4月下旬	4月25日	4月末	5月6日
島根県	2月22日	2月24日	2月24日	3月12日	4月下旬	4月25日	4月末	5月7日
山口県	2月13日	2月19日	2月21日	2月23日	4月下旬	4月25日	4月末	5月7日
徳島県	2月19日	2月22日	2月23日	2月25日	4月下旬	5月1日	4月末	5月4日
香川県	2月14日	2月25日	2月23日	3月8日	4月下旬	5月1日	4月末	5月4日
愛媛県	2月17日	2月24日	2月23日	2月25日	4月下旬	5月1日	4月末	5月4日
高知県	2月13日	2月16日	2月20日	2月23日	4月下旬	5月1日	4月末	5月4日
福岡県	2月13日	2月3日	2月20日	2月23日	4月下旬	4月25日	4月末	5月7日
佐賀県	2月17日	2月19日	2月24日	2月24日	4月下旬	4月25日	4月末	5月6日
長崎県	2月12日	2月16日	2月24日	2月23日	4月下旬	4月25日	4月末	5月6日
大分県	2月13日	2月19日	2月21日	2月24日	4月下旬	4月25日	4月末	5月6日
熊本県	2月14日	2月20日	2月20日	2月24日	4月下旬	4月19日	4月末	5月2日
宮崎県	2月12日	2月1日	2月17日	2月22日	4月下旬	4月19日	4月末	5月4日
鹿児島県	2月17日	1月31日	2月23日	2月20日	4月下旬	4月19日	4月末	5月2日

※花粉シーズン開始日/終了日：敏感な人に症状が出始める花粉飛散数10個/日を超える花粉飛散を2日以上観測した時/観測しなくなった時

本格花粉シーズン開始日/終了日：花粉症の症状が出始める花粉飛散数30個/日を超える花粉飛散を観測した日/観測しなくなった日。本格飛散終了日/飛散終了日はそれぞれ天気を考慮して判断する

北海道は、花粉シーズン/本格花粉シーズンに入っていないため、それぞれ予想日を算出

◆ 花粉症の症状がツライと感じた方の都道府県別割合

都道府県	今シーズン (%)	昨シーズン (%)	都道府県	今シーズン (%)	昨シーズン (%)
青森県	41.4	30.6	滋賀県	49.2	42.6
秋田県	14.1	12.1	京都府	45.5	40.7
岩手県	34.0	36.6	大阪府	46.2	48.4
山形県	45.5	26.8	兵庫県	43.0	46.4
宮城県	42.8	19.3	奈良県	40.4	45.3
福島県	39.3	34.1	和歌山県	50.2	54.4
栃木県	52.0	40.4	岡山県	46.5	37.7
群馬県	47.2	41.6	広島県	37.7	47.5
茨城県	42.8	44.6	鳥取県	64.1	44.6
埼玉県	47.3	46.1	島根県	40.7	46.7
千葉県	47.1	46.2	山口県	41.6	63.2
東京都	46.6	45.3	香川県	38.5	42.9
神奈川県	47.8	47.9	徳島県	18.8	42.6
山梨県	51.9	38.8	愛媛県	21.2	43.6
長野県	37.6	31.0	高知県	42.5	72.6
新潟県	20.2	16.5	福岡県	36.1	56.9
富山県	39.2	40.5	佐賀県	40.9	65.4
石川県	42.8	28.5	長崎県	42.1	60.9
福井県	28.2	29.3	大分県	31.1	46.0
静岡県	48.2	53.6	熊本県	19.4	52.1
愛知県	53.0	47.5	宮崎県	39.2	61.7
岐阜県	43.2	37.9	鹿児島県	12.7	58.0
三重県	48.8	46.2	全国平均	40.2	43.6

※本調査は、2月1日～3月23日までに、花粉症の方に花粉症の症状を“非常にツライ” “ツライ” “ややツライ” “大丈夫” から選択してもらい、その中で“非常にツライ” “ツライ” “ややツライ”と回答した方の割合

※沖縄県は目立った花粉がないため、北海道は3月までに本格花粉シーズンが開始していないため除く

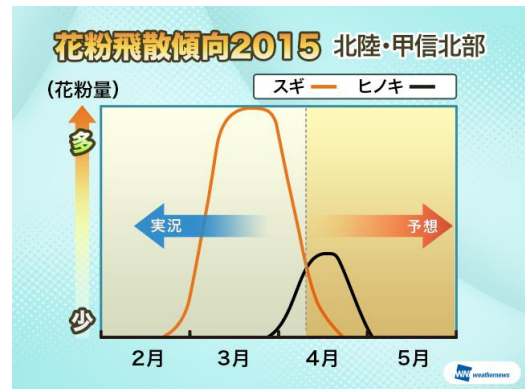
◆ 各エリアの見解（4月9日時点）

<p>北海道（シラカバ花粉）</p>	<p>シラカバ花粉は4月下旬から飛散開始！飛散ピークは5月中旬の予想</p>
<p>北海道は、4月下旬に寒さが緩み、シラカバ花粉のシーズンに入る予想です。5月になると春本番の陽気となる日が増え、ゴールデンウィーク頃から花粉の飛散量が多くなりそうです。飛散開始は平年よりやや早めですが、5月は気温が並かやや低くなる予想ですので、シラカバ花粉のピークは5月中旬と平年並となりそうです。ただ、4月下旬の暖かさ次第では、ピークが早まる可能性もあるので、早めの対策がおすすめです。</p> <p>なお、シラカバ花粉の飛散量は昨シーズンと同程度で、平年の1.4倍となる予想です。また、道南など一部で5月はじめにかけてスギ花粉が飛ぶことがあります。飛散量は本州に比べて少なくなりますが、対策をしておく安心です。</p>	
<p>東北北部</p>	<p>飛散量は昨年よりやや多め、花粉シーズンは昨年より1週間も早く終了</p>
<p>今シーズンは2月中旬以降の気温が、平年より高かったため、飛散開始は昨シーズンと比べて1週間程度早くなりました。また、3月中旬からの暖かさによって、花粉の飛散ピークは昨シーズンより10日前後早く到来しました。4月中旬までが飛散ピークで、晴れて気温が高い日や、風が強い日を中心に非常に多い花粉が飛ぶ恐れがあります。花粉シーズンは昨シーズンより1週間早く終了する予想です。</p> <p>なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は昨シーズンの同時期より多くなり、今シーズンのスギ花粉の総飛散量は、昨シーズンの1.2~1.4倍となる予想です。また、平年の同程度~1.8倍となる見通しです。万全の対策をしてお過ごしください。（東北北部ではヒノキ花粉はほとんど飛散しません。）</p>	
<p>東北南部</p>	<p>飛散量は昨年より多め、花粉シーズンは昨年より早めに終了</p>
<p>東北南部は、2月中旬以降の気温が平年よりも高かったため、今シーズンの飛散開始は宮城県、福島県では昨シーズンよりも1~2週間、山形県では3週間弱早くなりました。また、3月中旬からの暖かさによって、花粉の飛散ピークも昨シーズンより1週間程度早まりました。現在、スギ花粉はピークを越えつつありますが、今後も晴れて気温が高い日や、風が強い日を中心に非常に多く花粉が飛ぶ恐れがあるので、4月中旬までは注意が必要です。花粉シーズンは昨シーズンより早めに終了する予想です。</p> <p>なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期より多くなり、今シーズン通してのスギ花粉の総飛散量は昨シーズンの1.2~1.6倍となる予想です。また、平年と同程度~1.6倍の飛散量となる予想ですので、万全の対策を心がけてください。（東北南部ではヒノキ花粉はほとんど飛散しません。）</p>	

北陸・甲信北部	飛散量は昨年よりやや多め、花粉シーズンは昨年より早めに終了
----------------	-------------------------------

北陸は、2月下旬に春一番が吹き、暖かい日や風の強い日があったことで、新潟県では昨シーズンより約2週間、その他では5日前後早く花粉シーズンに突入しました。また、3月中旬にかなり暖かくなったことで、スギ花粉の飛散ピークは昨年より1週間程度早まりました。現在、スギ花粉の飛散はピークを越えつつあり、4月中旬までは引き続き注意が必要です。北陸は比較的にヒノキが少ない地域ですが、4月いっぱいには念のためヒノキ花粉にも注意が必要です。花粉シーズンは昨シーズンより早めに終了する予想です。

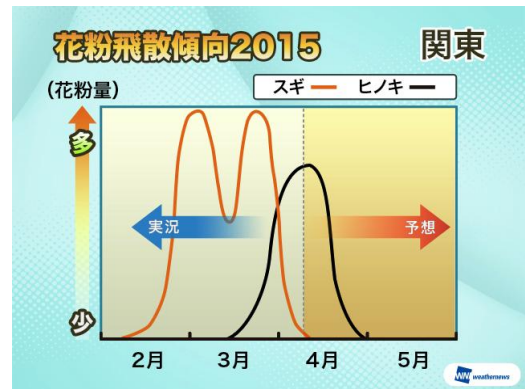
なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期より多くなり、今シーズン通してのスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、昨シーズンの1.1~1.5倍となる予想のため、引き続き注意が必要です。



関東	飛散量は今年の2倍前後、飛散期間は1ヶ月弱も短い予想
-----------	----------------------------

関東は、寒さが緩んだ2月中旬に、昨シーズンより2週間以上遅れて花粉シーズンに突入しました。1月末から寒い日が続く、2月上旬に今シーズン一番の寒気が到来したことでスギ花粉の飛散開始は遅れ、2月下旬に本格的な花粉シーズンに突入しました。スギ花粉は、昨年より10日程度早く3月上旬からピークを迎え、3月下旬にかけて風が強い日に多く飛びました。現在、スギ花粉の飛散量は次第に少なくなっていますが、ヒノキ花粉はピークを迎えているため、4月中は対策をして過ごすかと安心です。花粉シーズンは昨シーズンより1週間早く終了する予想です。

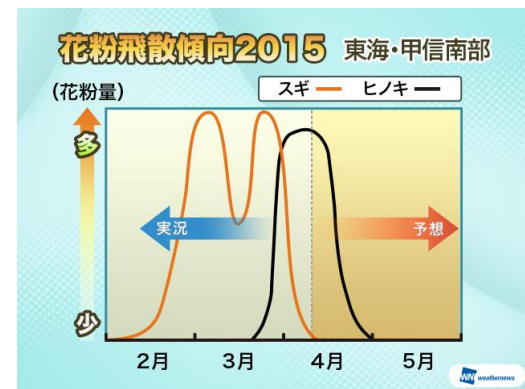
なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期より多くなり、今シーズン通してのスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、昨シーズンの1.5~2.5倍となる予想です。当初の予想よりもやや少ない飛散量となる見通しですが、引き続き注意が必要です。



東海・甲信南部	飛散量は昨シーズンの1.2~2.3倍、花粉シーズンは1週間早く終了
----------------	-----------------------------------

東海・甲信南部は、寒さが緩んだ2月中旬に各地で花粉シーズンに突入しました。その後、2月下旬には季節外れの暖かさになる日もあり、このタイミングで本格的な花粉シーズンに突入しました。2月下旬には静岡県でいち早くスギ花粉の飛散ピークを迎え、その他のエリアでも3月上旬から飛散ピークを迎えました。ピークは昨シーズンより1週間~10日程度早く、風が強い日を中心にスギ花粉が多く飛散しました。現在、スギ花粉は減少し、ヒノキ花粉の飛散ピークとなっています。4月中旬まではヒノキ花粉のピークとなるため、引き続き注意が必要です。花粉シーズンは昨シーズンより1週間早く終了する予想です。

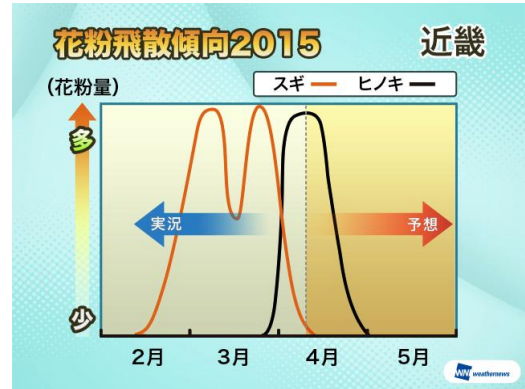
なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期より多くなり、今シーズン通してのスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、昨シーズンの1.2~2.3倍となる予想です。今後も晴れて風が強い日などは大量飛散となる恐れがあるため、対策をして過ごすかと安心です。



近畿	大阪府の飛散量は昨年の1.4倍！花粉シーズンは1週間早く終了
-----------	--------------------------------

近畿は、寒さが緩んだ2月中旬から花粉シーズンに突入したところが多くなりました。その後、2月下旬から3月はじめにかけて本格シーズンに突入し、暖かい日が増えた3月上旬からスギ花粉の飛散ピークに入り、昨年より数日早いピーク突入となりました。その後、3月下旬にかけて風が強い日を中心に花粉の飛散量が多くなりました。現在は、スギ花粉の飛散量は減少していますが、ヒノキ花粉が多く飛散しており、4月中旬までがピークとなります。ヒノキ花粉は4月中旬までがピークとなりますので、ヒノキ花粉症の方は4月末までは引き続き注意が必要です。花粉シーズンは昨シーズンより1週間早く終了する予想です。

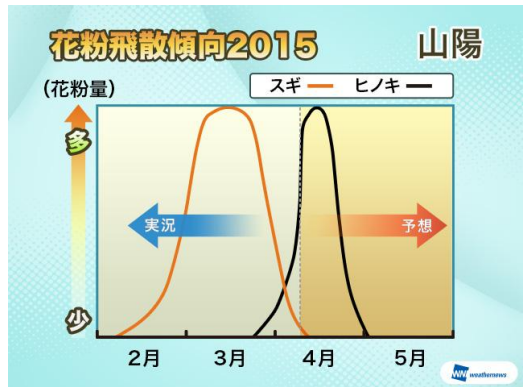
なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期と比べると、大阪府や兵庫県では多く、その他では少なくなりました。今シーズン通してのスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、近畿南部を中心に昨シーズンの8割前後のところもありますが、大阪府では1.4倍、兵庫県では1.9倍となる見通しです。晴れて風が強い日は大量飛散となる恐れがあるので、対策をして過ごす目安です。



山陽（山口県除く）	山陽の飛散量は昨年並かやや少なめ、花粉シーズンは1週間早く終了
------------------	---------------------------------

山陽は、寒さが緩んだ2月中旬に、昨シーズンより数日～1週間ほど早く花粉シーズンに突入しました。2月下旬は暖かい日が多く、春一番も吹いたことで飛散が開始した数日後に本格的な花粉シーズンに突入しました。スギ花粉は、3月上旬にピークを迎え、昨シーズンと同程度か数日早いピーク開始となりました。その後、3月下旬にかけて風の強い日には度々大量に飛散しました。現在、スギ花粉は減少していますが、ヒノキ花粉の飛散量が増えています。今後も晴れて暖かい日や風が強い日を中心にヒノキ花粉が多くなるため、4月下旬までは引き続き注意が必要です。花粉シーズンは昨シーズンより1週間早く終了する予想です。

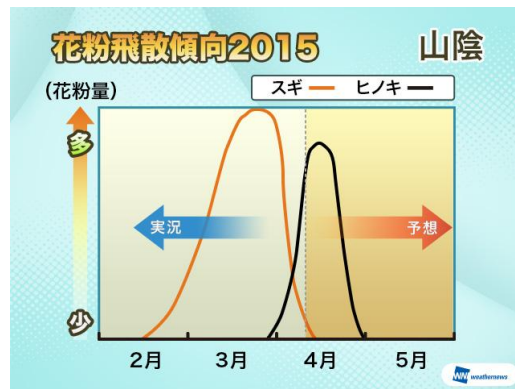
なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期と比べると同程度～多くなりました。これまでは多い傾向ではあるものの、飛散ピークが昨シーズンよりやや早いため、今シーズン通してのスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、広島県では昨シーズンの8割、岡山県では同程度となる予想です。



山陰	山陰の飛散量は昨年の1.6～1.7倍、花粉シーズンは1週間早く終了
-----------	-----------------------------------

山陰は、寒さが緩んだ2月中旬に、昨シーズンより数日早く花粉シーズンに突入しました。2月下旬も暖かい日が多く、春一番も吹いたため、スギ花粉の飛散が開始した2日後に本格的な花粉シーズンに突入しました。スギ花粉のピークは3月中旬～下旬で、昨シーズンと同程度か数日早くなりました。一方でヒノキ花粉の飛散量が増えています。今後も晴れて暖かい日や風が強い日を中心にヒノキ花粉の飛散量が多くなるため、4月下旬までは引き続き注意が必要です。花粉シーズンは昨シーズンより1週間早く終了する予想です。

なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期より多くなりました。今シーズン通したスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、昨シーズンの1.6～1.7倍、平年の7～8割となる予想です。

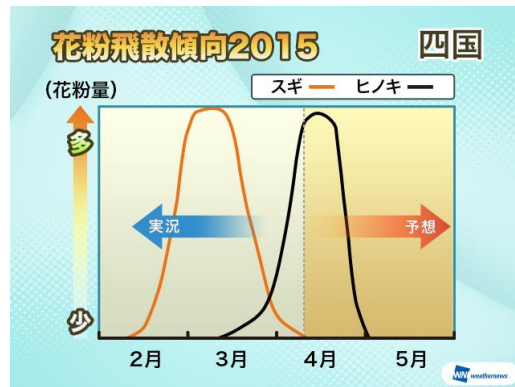


四国

愛媛県や高知県の飛散量は昨年の3～4割、シーズンは早めに終了

四国は、2月中旬から寒さが和らいだため、昨年より数日～1週間ほど早く、2月中旬に花粉シーズンに突入しました。2月下旬も平年よりも気温が高い日が続く、春一番も吹いたため、花粉の飛散が開始してから数日～1週間程度で本格的な花粉シーズンに突入しました。スギ花粉のピークは2月末頃～3月中旬で昨シーズンより数日早くなりました。現在、スギ花粉は減少中ですが、ヒノキ花粉が増加し、ピークを迎えようとしています。今後も晴れて暖かい日や風が強い日を中心にヒノキ花粉の飛散量が多くなるため、4月下旬までは引き続き注意が必要です。花粉シーズンは昨シーズンより早めに終了する予想です。

なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期と比べると少なくなりました。シーズンを通したスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、少ないところ（愛媛県、徳島県、高知県）で昨シーズンの3～5割、多いところ（香川県）で9割前後となる予想です。また、平年と比べると、愛媛県・高知県では4～5割、徳島県や香川県では7～9割となる予想です。

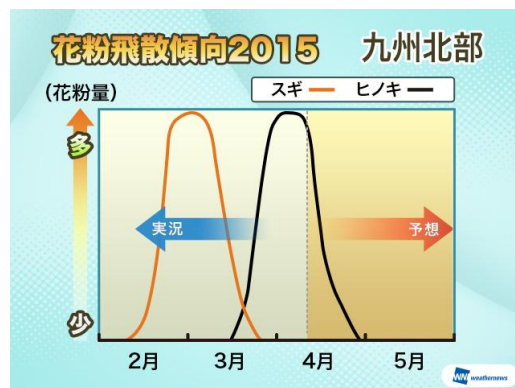


九州北部・山口県

九州北部の飛散量は昨年の2～3割、花粉シーズンは1週間早く終了

九州北部と山口県は、寒さが緩んだ2月中旬に花粉シーズンに突入し、2月下旬には本格的な飛散シーズンとなりました。さらに、2月下旬は春一番が吹いて風が強く暖かい日があり、この頃から3月上旬にかけてスギ花粉のピークとなりました。スギ花粉のピークは昨シーズンと同じ頃となり、現在はヒノキ花粉のピークを越えつつあります。今後は徐々にヒノキ花粉の飛散量が少なくなり、昨シーズンより数日早く4月末にはシーズン終了となる予想です。ただ、4月下旬までは風が強い日を中心に飛散量増加に注意が必要です。

なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は昨シーズンより少なくなりました。シーズンを通したスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、昨シーズンの2～3割、多くても5～7割程度となりそうです。また、平年と比べると3～6割となる見通しです。



九州南部

九州南部の飛散量は昨年の半分、花粉シーズンは早めに終了

九州南部は、寒さが緩んだ2月中旬に、昨年より1~2週間ほど遅く花粉シーズンに突入しました。春を感じられる暖かさが続いたため、飛散が開始してから数日で本格的な花粉シーズンに突入しました。スギ花粉の飛散ピークは昨シーズンとほぼ同時期の2月下旬~3月上旬で、晴れて暖かい日や風が強い日を中心に飛散量が多くなりました。また、ヒノキ花粉は4月中旬までがピークとなり、4月末には終了する予想です。花粉シーズンは昨シーズンより早めに終了する予想です。

なお、飛散開始から3月下旬までの飛散量は、昨シーズンの同時期より少なくなりました。シーズンを通したスギ・ヒノキ花粉の総飛散量は、昨シーズンの5割前後、鹿児島県では平年の4割、宮崎県では平年の8割となる見通しです。

昨シーズンより飛散量が少なくなることもあり、ヒノキ花粉のシーズン終了は昨シーズンよりやや早く4月末となる予想です。

